

6.10伊方原発稼働阻止!!

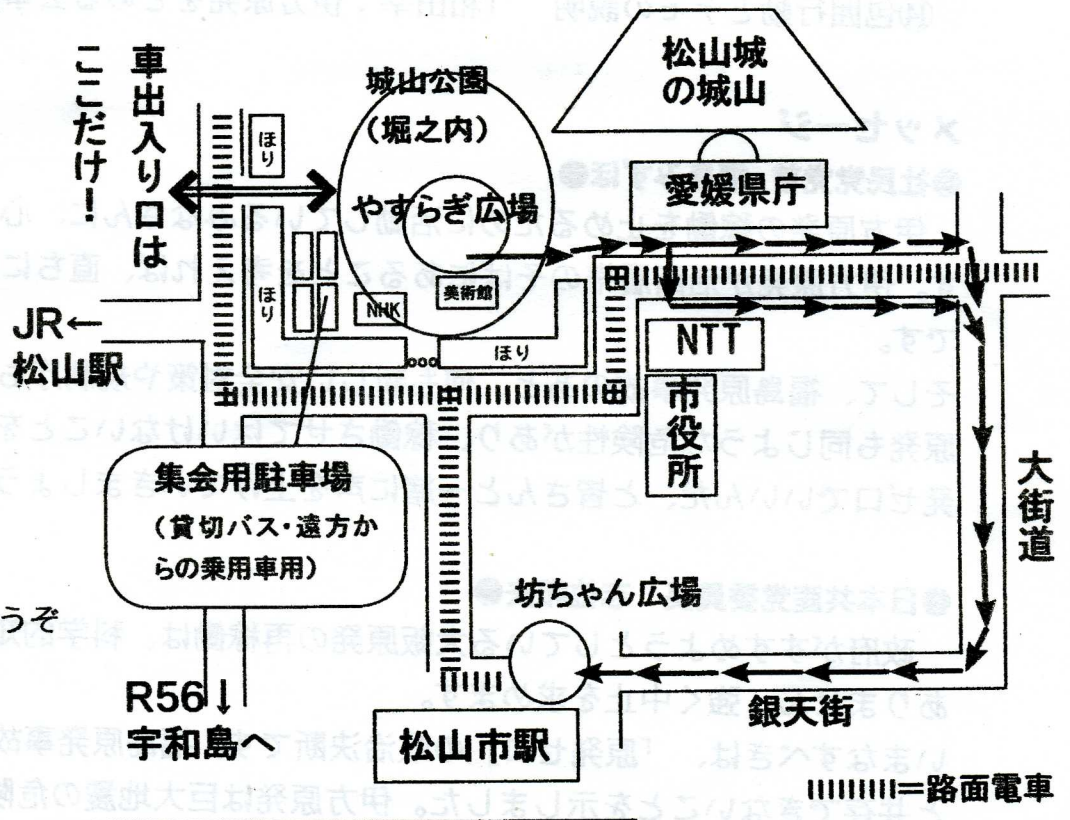
愛媛県庁包囲行動と街頭デモ

プログラム

- 1:00~ 開場/うたごえ
- 1:30~ スタート集会 ※救護班は受付近くにあります。お気軽にお声かけ下さい。
- 2:15~ デモ出発
- 2:25~ 県庁包囲行動
- 2:40~ 大街道・銀天街へ
- ~3:45 松山市駅前(坊ちゃん広場)で流れ解散(裏面も参照)

シュプレヒコール:

伊方原発はいらないぞ
伊方原発の再稼働反対
伊方原発の稼働は許さないぞ
原発から子どもたちを守ろう
原発を廃炉にしよう
瀬戸内海を守れ
原発より命が大事
さようなら伊方原発
われわれは最後まで闘うぞ
われわれは最後の最後まで闘うぞ
闘うぞ 闘うぞ 闘うぞ



主催：伊方原発をとめる会



スタート集会 発言者

司会 (武井多佳子：伊方原発をとめる会)

- ① 開会挨拶 (草薙順一：伊方原発をとめる会事務局長)
- ② 九州から (内田淳一：「伊方原発停止・廃炉」愛媛・大分県共闘会議代表)
- ③ 上関計画の中国から (三浦翠：原発いらん！山口ネットワーク)
- ④ 四国から (徳弘嘉孝：原発をなくす高知県民連絡会世話人)
- ⑤ 全国市民運動から (広瀬隆：作家)
- ⑥ 福島から (木田節子：富岡町から水戸市へ避難中)
- ⑦ 現地伊方から (近藤誠：伊方原発反対八西連絡協議会)
- ⑧ 被ばく2世から (河野美代子：広島医師)
- ⑨ 青年から (佐々木森夢：伊方原発運転差止訴訟の学生原告)
- ⑩ 弁護士から (中川創太：伊方原発運転差止訴訟弁護士事務局長)
- ⑪ メッセージ紹介 (奥田恭子：伊方原発をとめる会)
- ⑫ 集会決議 (野中玲子：子どもたちの未来を放射能から守る愛媛の会)
- ⑬ 閉会挨拶 (曾根康夫：愛媛民医連医師)
- ⑭ 包囲行動とデモの説明 (和田宰：伊方原発をとめる会事務局次長)

メッセージ

●社民党党首 福島みずほ●

伊方原発の稼働を止めるために活動しているみなさんに、心から敬意を表します。伊方原発が活断層帯のそばにあることを考えれば、直ちに廃炉を決断するべきです。

そして、福島原発事故のあと、何も新しい安全対策や規制庁もないまま、全国どの原発も同じような危険性があり、稼働させてはいけないことを皆知っています。原発ゼロでいいんだ、と皆さんと一緒に声を上げていきましょう！

●日本共産党委員長 志位和夫●

政府がすすめようとしている大飯原発の再稼働は、科学的知見も道理のかけらもありません。強く中止を求めます。

いまなすべきは、「原発ゼロ」の政治決断です。福島原発事故は、原発が日本社会と共存できないことを示しました。伊方原発は巨大地震の危険と隣り合わせであり、再稼働など論外です。ともにがんばりましょう。

集 会 決 議 (案)

私たちは今ここに、四国電力伊方原子力発電所をなんとしてもとめたいという強い思いで、県内外から集まりました。フクシマの悲惨な原発事故を伊方の地で絶対に起こしてはなりません。私たちは原発事故の不安でいっぱいです。

東京電力福島第1原子力発電所の事故は、いまだ原因究明がなされていません。収束の見通しもついていません。関係者の誰も責任をとっていません。しかし、野田首相は夏の電力不足を宣伝し、電気料金の値上げで国民を脅し、大飯原発の再稼働が必要だと真正面から強弁しました。無責任な政治判断によって、安全性を無視して、危険な原発を稼働させることは許されません。いかに電力が必要であったとしても、命にはかえられないのです。

伊方原発の沖合約6キロメートルには中央構造線活断層帯があります。東海・東南海・南海の3連動の巨大地震にいつ見舞われるか分かりません。伊方原発付近は地すべり地帯です。伊方原発の敷地は埋め立て地です。地震による原子炉へのダメージだけでなく、送電線の切断や液状化現象による事故の可能性もあります。

さらに伊方原発1号機と2号機は運転開始から30年以上経過し、老朽化しています。3号機は毒性の最も強いプルトニウムを混合したMOX燃料を使用しています。行き場のない使用済み核燃料の保管も危険材料です。

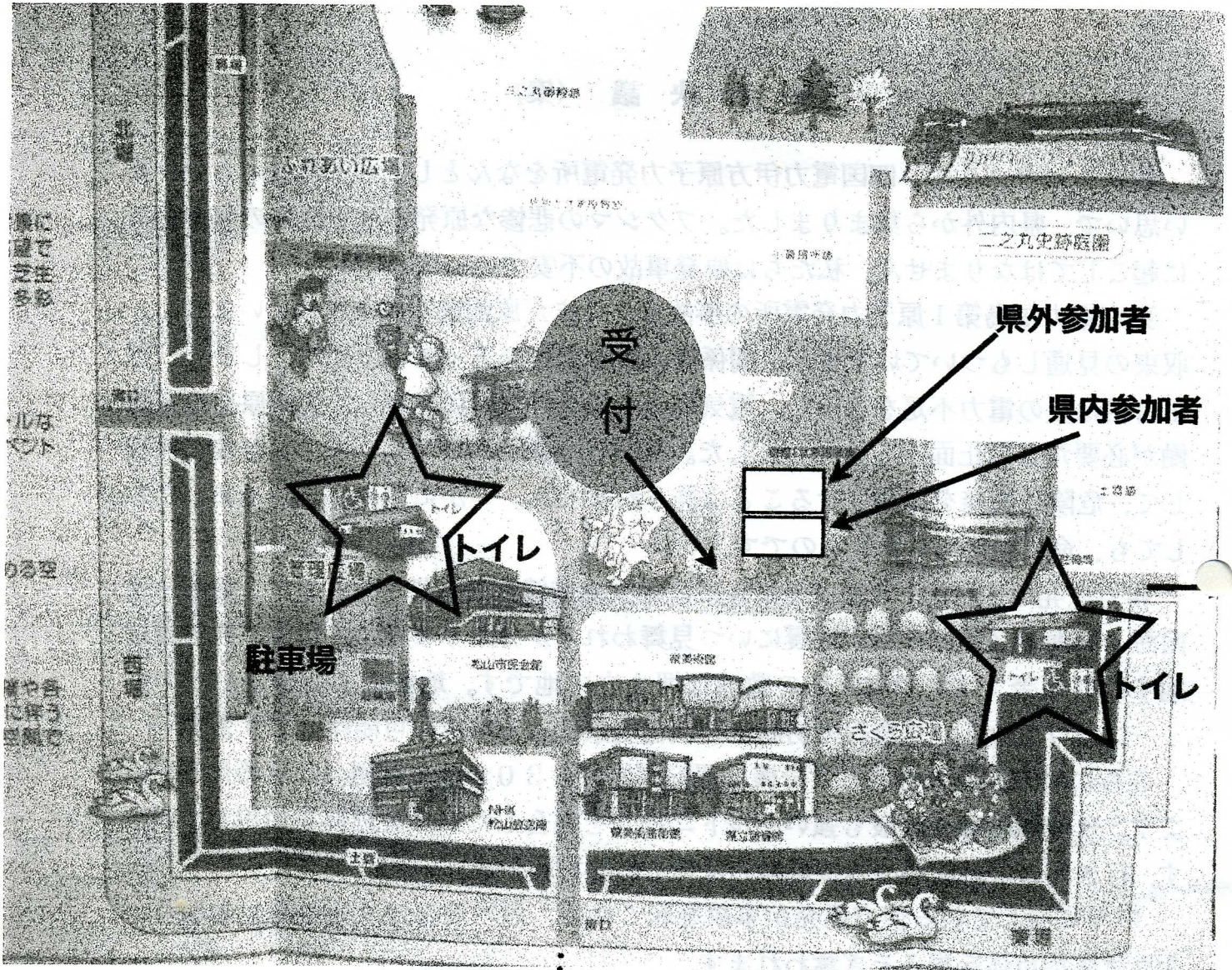
内海に面している伊方原発が事故を起こせば、瀬戸内海は「死の海」となり、人々は生活自体を根こそぎ奪われます。

原発の安全を担保する手段はありません。原発は「死の灰」を出し続けます。原発を再稼働すべきではありません。

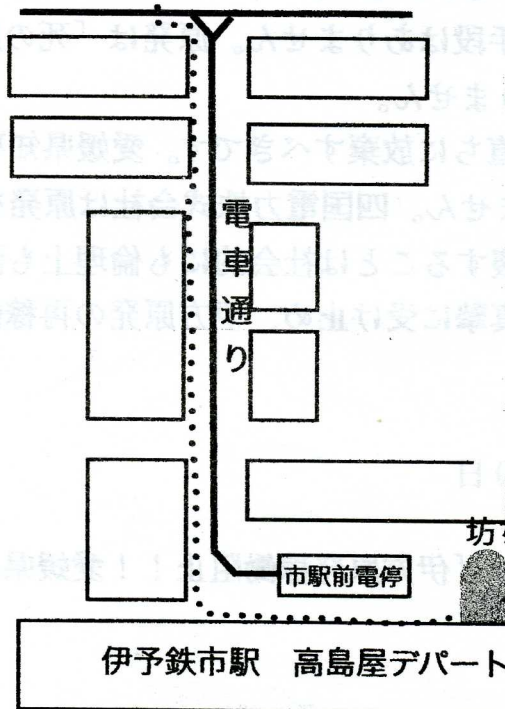
政府は原発推進政策を直ちに放棄すべきです。愛媛県知事と伊方町長は伊方原発の稼働に同意してはなりません。四国電力株式会社は原発を稼働させてはなりません。国民の命と環境を破壊することは社会的にも倫理上も許されません。原発に対する私たちの不安の声を真摯に受け止め、伊方原発の再稼働を絶対にしないことを求めます。

2012年6月10日

「伊方原発稼働阻止！！愛媛県庁包囲行動」参加者一同



愛媛県知事宛の署名運動を開始しました。目標は40万筆！ぜひともお広めください。



明日11日の愛媛県知事宛申し入れの集合場所は、県庁第一別館ロビーに変更になりました。(9:30)

次回の伊方裁判口頭弁論は9月25日。傍聴にお越しください。



伊方原発をとめる会

790-0003 愛媛県松山市三番町5-2-3ハヤシビル3F
 電話 089-948-9990 FAX 089-948-9991
 HP <http://www.ikata-tomeru.jp>